



■アメリカグランドサークルトレッキング

- 日 程：6月8日(月)～17日(水)
- 参 加 者：L 瀬尾 SL 三木(悦) SL 和田 井上 大谷 澤田(律) 塩津
田中(武) 田羅間(易) 田羅間(勤) 村上

◆◆素晴らしい景観のグランドキャニオン

井上

- 行 動 記 録：モンテカルロホテル8:00 発ースーパー (8:40 着)9:00 発ーキングマン(10:35 着・
(9日) 休憩)11:00 発ーセリグマン(11:55 着・昼食)12:40 発ーグランドキャニオン国立公
園ブライトエンジェル&リムトレイルトレッキングーヤバパイポイント(15:00 着)
ーホテル(17:30 着)

アメリカ大陸上陸。未知への冒険旅行の始まり。時差ボケ(ー16H)で、ボーッとしたまま、カッコいい大型専用車で出発。

7日間お世話になるガイドの永田さんは熊本出身の明朗闊達な32歳の1児のパパ。長身でアメリカの風土にとけ込み謳歌している若者という感じ。

巨大豪華ホテル街(3千～5千室)

のカジノの町ラスベガスをぬけ、行けども行けども赤茶色の荒野砂漠が続く。想像を絶する大陸を実感！ ルート66で有名なセリグマンを経て荒野砂漠から森林に変わり、世界で最も迫力の景観のグランドキャニオン国立公園に到着。古代の海や砂漠からの多様な化石をはじめ、18億年にも及ぶ地球の歴史を守っている。断崖と残丘が幾重にも重なり、遥かかなたの空にはテーブルマウンテンが一直線に延々と続く。あいにくの曇り時々小雨で、夕日鑑賞は諦めたがまだまだ先のお楽しみに……。



◆◆神秘的なアンテロープキャニオン

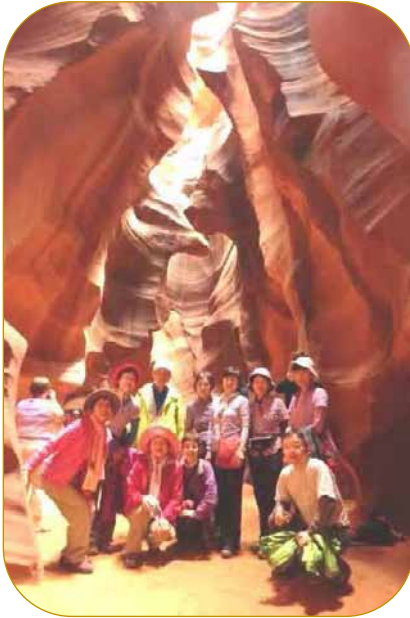
大谷

- 行 動 記 録：ヤバパイロッジ7:00～デザートビューポイント(7:40 着)8:10 発ーホースシュー
(10日) ベンド(11:05 着)～11:40 発ーアンテロープキャニオン(11:50 着)13:00 発ー
中華の店(13:40 着・昼食) 14:30 発ーモニュメントバレー(17:30 着)

旅の2日目、朝日観賞のため、5時前に起きて行くも、お天気が悪くて見られなかった。

ロッジを7時に出発。デザートビューポイントの展望台に建つウォッチタワー(1993年建立)に行ったが、朝早かったので閉まっていた。

車でペイント砂漠(色塗られた砂漠)の89号線を1200m下って、1952年に出来た町ページに……。コロラド川が曲がりながら流れるのを崖の上から見ると、馬蹄形をしている



ので、ホースシューベントと言われているところに行ったが雄大だ。崖から谷までは深く、日本であれば崖の上に殺到するかもしれないが、アメリカでは大自然をそのままにして、何かあれば自己責任！

次にアンテロープキャニオンは、1931年にナバホ族の14才の少女によって発見された。

毎年の洪水によって、洗濯機のように渦を巻いて出来る鉄砲水の浸食と光が創り出す神秘的な岩の形はいろいろなものを想像させる。

車で3時間移動して、モニュメントバレーに到着。映画(西部劇)のロケ、CM等に多く使われたところだ！ビューホテル(1670m)に泊り、夕日からモニュメントバレーに光るグラデーションが刻々と変わるところが、とても言葉で言い表せないくらいの感動がある。又、夜空も降るほどの星が見られてとても幸せな一日でした。

◆◆感動のモニュメントバレーに行く

塩津

- 行 動 記 録：ホテル8：00 発ーミッチェルメサ登山口9：00 発ー頂上(10：05 着)台地を(11日) ハイキングー登山口(12：10 着)ージョンフォードポイント観光ービューホテル14：00 発ーモアブのホテル(17：30 着)18：05 発ーデッドホースポイント州立国立公園(18：50 着)19：10 発ー夕食ーホテルへ

前日素晴らしい夕日と星空を眺め、今日は朝5時よりあの広いモニュメントバレーで90人しか泊まれない超予約困難のザ・ビューホテルの部屋のベランダからの朝日鑑賞。

昨日ガイドさんより教わった夕日モードでの写真撮影を試みる。中々の出来映えだった。

各自朝食後、ナバホ族の現地ガイド同行でしか入る事の出来ない神聖な場所、テーブルマウンテン・ミッチェルメサに登る為、道無き道をジープで悲鳴をあげながら、揺られ揺られて行く(もどしそうでした)。

途中、ウラン探鉱跡を見ながら1時間余りで頂上の台地に。

そこに待っていたのは！究極のモニュメントバレー！これぞまさしく西部の風景！荒涼とした砂漠に点在する様々な名の付いた赤いテーブル岩や岩山が……。もうもう感動ものでした！！

ジョンフォード監督の西部劇の舞台で有名なポイントも巡り、可愛い現地のガイドさんに別れを告げ(アヒィヘ＝有難う。ハゴネ＝さようなら)モニュメントバレーをあとにモアブの街へ。



◆◆アーチーズ国立公園 観光とハイキング

田中

- 行 動 記 録：モアブ 8:30 発ーアーチーズ国立公園(8:45 着)ーランドスケープアーチ
(12日) (世界最大90mまでハイキング)ーノースウインド、サウスウインド、タレント
アーチ見学ーモアブ(12:50 着・昼食)ーマーケット(13:40 着)ーキャニオンラン
ズ国立公園(15:30 着)ーグリーンリバーオーバールック見学 16:00 発ーホテル
(16:50 着・休憩) 18:20 発ーデリケートアーチ(ユタ州の象徴)入口(19:30 着)ー
デリケートアーチ(20:10 着・夕日鑑賞)ー入口ーホテル(21:10 着)

アーチーズ公園の名の通り、穴の開いた岩＝アーチが所狭しと2000ヶ所以上点在する。不思議で幻想的な場所でした。代表的なアーチは世界的にとっても有名なデリケートアーチ。ユタ州のシンボルのひとつとなっていて車のナンバープレートのデザインに起用されています。遠くからアーチを眺めるのも良いが、やっぱりすぐそばまで歩いて行き、自然が創造した芸術を間近でみて、手で触れて楽しめました。

アーチーズ国立公園は、どんどんトレイル歩いて、たくさんのアーチを色々な角度から見て触れて楽しむ公園。簡単なトレイルから、上級者向けのトレイルなど色々。たとえば、デリケートアーチまでのトレイルは、往復2時間弱だが、たどり着くまでの道のりは少々厳しい。急な坂を上って行くので、転がり落ちないように十分注意しました。

全体としての感想は、10日間の長丁場、体調維持に心配しましたが大丈夫でした。

レーションが体調維持に良かったように思います。大きな木の下、芝生の上で、みんなで輪になって食べた非常食の五目ご飯は美味しかった。日本に帰ってからの時差ぼけも無く、あくる日から元気に出社しました。

◆◆綺麗な造形美、ブライスキャニオン

田羅間

- 行 動 記 録：モアブリバーサイドインホテル 8:07 発ーキャピタルリーフ国立公園(ビジター
(13日) センター(11:20 着) 12:00 発ートーリー(12:20 着・昼食) 13:00 発ーブライス
キャニオンシティ(16:10 着) ホテルチェックイン(16:53 着)ーブライスキャニ
オン国立公園ナバホールプトレッキング 17:30 発ーサンセットポイント(18:00 着)
19:15 発ーホテル(20:00 着)



グランドサークル(全行程2500km)も、いよいよ終盤の5日目となり今日は、ユタ州に辿り着きました。

毎日が感動の連続で朝からキャピタルリーフ国立公園に向かいました。

この地は、19世紀にモルモン教徒の開拓者たちが植えた果樹園があり、サクランボ、りんご園が車窓から見えました。途中休憩で約1000年前の原住民によって岩絵が宇宙人の様な描写で画かれていました。その後ビジターセンターへ立ち寄りトーリーの町で昼食にしました。休憩の後ブライスキャニオン国立公園に向かって出発。車に乗ること3時間余りで16時10分にホテルに

チェックイン。その後16時53分ナバホールプ・トレイルに到着。この公園は、ブライス氏によって発見され、その面積は東京都の3.5倍です。そこは、赤、白、ピンク、とカラフルな岩壁で細く鋭く彫刻された巨大なチェスの駒のようであり、中でも眼鏡岩、雷神のハンマー等は、とても綺麗な造形美で、その地層は、石灰を多く含み自然の雨や雪によって削られたフイン状にのびた景色は何とも感動的でした。

◆◆ザイオン国立公園トレッキング

田羅間

- 行 動 記 録：トロピカルホテル発8:30ーザイオン公園東口(10:40着)ーロッジ(11:30着)～(14日) トレッキング(2ヶ所約1時間)～ロッジ(13:30着・昼食)～トレッキング14:15(1時間15分)～ロッジ(15:55着)16:30発ーメスキート(17:30着・時差修正+1時間)18:45発ーラスベガス19:30着

ブライスカニオン近くのトロピカルホテルを出発後ザイオン東口より公園に入る。トンネル入り口で片側通行待ちの間にビッグホーンシープの家族4頭を見る。これを目にすることは珍しく、とてもラッキーなことだとガイドさん。

大きな岩をくりぬいたトンネルの凄さ！環境に配慮したシャトルバスでハイキングスタート点まで行き、川までピストンして戻り、その後ウーピングロックまで登るハイク。2000年前の水滴、すごい！！

ザイオンロッジで昼食(レーション)を食べ再び次のハイク、エメラルドプールアップーまで登って行く。1200年前の雪解け水の水滴、花やリスに感動しつつ見上げる大岩壁の下まで辿り着き、その壮大さに感嘆する。

ザイオンロッジに戻り、ラスベガスに向けて出発。予定表では2時間程となっていたが、2時間たってもまだ広野の中、なんと1時間の時差発生で実際には3時間かかると言う。バスで走るあいだに時差が発生するとはなんと広い国であるのか。驚きである。

ホテルにチェックイン。いままでの大平原と違い巨大ホテル、ギャンブル場、人々の喧騒にあ～あ、グランドサークルの旅が終わってしまったと淋しさを感じた。



◆◆熱風のバレーオブファイアー州立公園

村上

- 行 動 記 録：ホテル11:00発ーWelcome to Las Vegas (11:25着)11:35発ーSUBWAY11:40(15日) 40:昼食12:15発バレーオブファイアー州立公園(13:20着)14:50発ーウォルマート(15:50着)17:10発ーラーメン店そら(17:25着・夕食)18:25発ーワールドギフトショップ(18:35着)18:50発ーストラトスフィアタワー(18:55着・夕焼け鑑賞)20:40発ーダウタウンフルモントエクスペリエンスショー観賞21:15発ー空港(21:30着)

朝から11時の出発までフリータイム。同室のSさんとホテル内のコーヒーショップでゆっくりと朝食をとりました。ホテルを出発してから **Welcome to Las Vegas** サインの前で記念撮影。

15ヶ所あるネバダ州立公園で一番古いバレオオブファイアー州立公園へ。名前のとおりラスベガスから荒野を一時間ほど走ると突然赤い岩の岩稜帯が出現します。外気温は42℃、バスを降りるたびに熱風にさらされます。ハチの巣、レインボーなどの名前のついた岩をながめ、夕食は北海道から出店しているラーメン店“そら”へ。旅の終わりにビールで乾杯。

夕焼けを堪能すべくストラトスフィアタワー(350m)の上からラスベガスを一望し、次第に変わる美しい夜景に見とれました。旅の最後のイベントはダウントウンフルモントエキスペリエンスショー、ボンジョビのアーケードショーです。アーケードいっぱい若者の熱気と大音響で、まるで打ち上げ花火の様でした。ガイドの永田さんやネバダ観光の方々に見送られ帰路につきました。本当にお世話になり感謝でいっぱいです。

日 程 表

6月8日～15日

日付	場 所	時間	行 動	宿 泊 地
8日	関空～ラスベガス (-16時間時差)	夕方着	ラスベガスの街散策・買物	ネバダ州ラスベガス
9日	グランドキャニオン (国立公園)	午前/午後	移動/リムトレイル ハイキング	園内/ヤバパイロッジ
10日	ホースシューベント	午前	ハイキング	
	アンテロープキャニオン	午後	周回散策	ナバホ族居留地/ザ・ビューH
11日	モニュメントバレ	早朝/午前	朝日/ミッチェルメサ トレッキング	ユタ州モアブ市内ホテル
12日	デッドホースポイント (ユタ州立公園)	午前	散策	
	キャニオンランズ (国立公園)	午後	散策	
	アーチーズ (国立公園)	午後	ランドスケープ ハイキング	
	〃	夕刻	デリケートアーチ・夕日鑑賞ハイク	ユタ州モアブ市内ホテル
13日	キャピトルリーフ (国立公園)	午前	散策	ユタ州プライスカニオンシティ
	プライスカニオン (国立公園)	午後	サンセット鑑賞/ループハイキング	
14日	ザイオン (国立公園)	午前	リバーサイドウィービング ハイク	
	〃	午後	エメラルドプール ハイキング	ネバダ州ラスベガス
15日	バレオオブファイア (ネバダ州立公園)	午前/午後	公園散策/ラスベガス観光	夜、帰国



■鶴嘴山(初めての山歩き教室)

- 山 行 日：6月14(日)
- 参 加 者：La 須増 SLa 藤本 北口 田中(重) 田中(由)
Lb 山本(正) SLb 渡辺(和) 小山 木村
教室生 12名
- 行 動 記 録：JR 東横線 9:15 発～磨崖仏(9:25 着)9:30 発～古宮天満神社
(9:55 着)10:00 発～屏風岩頭(10:20 着)10:30 発～鶴嘴山(11:25 着)11:30 発～休憩(12:00 着)12:10 発～東山公園(13:15 着)13:45 発～志んぐ荘(13:55 着)～はりま新宮駅(14:05 着)



◆◆ 龍野の低山を鮎釣り見ながら登山して・・

小山

今日の山行は「初めての山歩き教室」実技4回目、龍野・鶴嘴山のサポートである。

5年程龍野に住んでいた関係で、以前から鶴嘴山へは行きたいと思っていた。あの頃は子育ての真っ最中で、登山をしたいとは思わなかったけれど、20年振りぐらいで乗車した「姫新線」がやたら懐かしく、登山の前からウキウキ気分であった。



曇り空の中、JR東嵯崎駅から出発した。本日の参加は会員9名、教室生12名の21名。

最初の目的地は川沿いの嵯崎の磨崖仏だ。案外、写真で見たものより小さくて、これではないと藪の中を探しに入ってみたりしたが、結局見つけ

られなかった。あの時地図を何度も確認したにも関わらず、嵯崎ノ屏風岩と書かれているのに、磨崖仏と勘違いをしたのは何故だったのだろうか？JRの線路の北に磨崖仏は存在しなかったのだ。なのに、誰一人気付くことは無かった。このあたりが山行に参加する際にリーダーに頼りっぱなしである証拠である。会員になって4年にもなるが、いつまでもリーダー頼みである自分が情けなくなった。

天満神社の鳥居から登り始めた。墓地の中を進み、急な岩場を登っていく。岩場を登りきると、揖保川の流れの向こうに寝釈迦（頭は鶏籠山、胸は的場山）のシルエットが見えた。本当に巨大なお釈迦様が上向きで寝そべっているようだった。あの場所に行かなければ見ることの出来ない、ありがたい山のシルエットである。屏風岩、タイコ岩と進み、いよいよ鶴嘴山のピ

ークに到着したが、全く展望は無かった。がっかりである。鶴嘴山から大正池方面に下山。舗装道路に出て東山公園へ。ここでやっと昼食であった。初めて訪れたが、紅葉の季節にまた訪れたい素敵な公園だった。ここから志んぐ荘を経て、揖保川に架かる東山公園橋（揺れて怖かった・・）を渡り、JR播磨新宮駅へ。

休憩も含めて約5時間ほどであったが、教室生の実技ということで全体的にのんびりした山行だった。冬の間、冬眠していた身としてはリハビリを兼ねてのゆっくりした山行でまた一つ自信を得ることが出来、来週からの山行に弾みがつけられたような気がします。皆様、ありがとうございました。



■高御位山縦走(トレーニング及び各自脚力・歩荷力確認縦走)

- 山 行 日：6月20日(土)
- 参 加 者：L 森本 SL 竹内 尾内 小山 苦瓜 藤田 藤本 本多 前川(克) 村上 森下 山本(清)
- 行 動 記 録：御着駅(8:40 着)8:50 発～御着登山口 9:20 発～桶居山(10:30 着) 10:40 発～(昼食・12:05 着)12:25 発～鹿嶋・高御位分岐(12:40 着) ～高御位山(13:20 着)13:30 発～北山分岐(14:20 着)～辻分岐(14:25 着)～辻登山口(15:05 着)15:20 発～宝殿駅(15:45 着)

◆◆高御位山縦走に参加して

森下

夏山山行に参加したいとの思いで今回、高御位山縦走に申込みをしました。

一般道を含めて約12km(縦走距離8km)、私の今までの山行では最長の様に思います。

かなり厳しくなりそうですが、覚悟して臨みました。

集合の御着駅から少し歩いたところに、黒田官兵衛孝高父祖の廟所と御着城本丸跡に三代の城主を祀る小寺大明神(天川神社)がありました。羽柴秀吉の時代に心を馳せ、御着登山口より登ります。

桶居山までの途中の最初の20分程が急な登りで、曇り空にもかかわらず結構汗が吹き出します。登山口から桶居山までは順調に登れましたが、高御位分岐あたりから右足に疲れがきて、小刻みなアップダウンは本当に大変でした。リーダーのすぐ後ろを歩いていたのですが、何回も待つて頂きました。北山分岐に着いた頃にはもう限界で気力だけで前に足を出すことしか考えていません。やっと辻登山口に到着、ここでストレッチをして緊張した筋肉をほぐします。

最終着の宝殿駅までの長いこと、今日は疲れしました。夏山は、私にはまだ無理かなあ……。

でも行ってみたいし(今日より若い日はない)と、言うのが感想です。皆さんご迷惑をお掛けし、大変お世話になりました。





■高御位山(初めての山歩き教室)

- 山 行 日：6月21日(日)
- 参 加 者：La 砂川(延) SL 山本(正) 木村 土屋
Lb 須増 北口 小山 藤本
教室生 14名
- 行 動 記 録：市ノ池みどりの相談所前9:10発～縦走路出会い(9:4着)9:55
発～高御位山(11:35着)11:45発～中塚山鉄塔下(12:00着)
12:50発～長尾新池(12:50着)～みどり相談所前(13:15着)

◆◆高御位山に登って

土井

6月21日、「はじめての山歩き教室」で、高御位山に登るのもこの日で3回目となりました。前日までの微妙な空模様&高砂近辺では直前に結構雨が降ったらしいので、「これは登っている最中も雨が降るかも？」と思ったけれど、いいお天気になりました。しかもめちゃめちゃ暑い！登りはじめて15分くらいで、もう汗だくでした。

いつも最初の休憩ぐらいまでが一番しんどく感じます。途中、山登りの時の呼吸法とかを教えてもらったりしながら登りました。この日は雨上がりで空気が澄んでいたので、山の上からの景色が遠くまでくっきり観えるし、空も青いし、風も通るし、清々しい気持ちになりました。

高御位のコースの中では岩のところを降りるのが結構気に入っています。今回も「岩まで来たぞ！」とテンションを上げつつ、足元も気をつけつつ降り、楽しかったです。

下山すると登ってきた山を振り返ります。この日も高御位の山を見上げて「あんな所まで登って歩いてきたんだなあ。なかなか頑張ったな」と、自己満足にひたる私でした。

一緒に登った山歩き教室の皆様、スタッフの皆様ありがとうございました。

◆◆感想文

橋本

私は、朝起きて山歩きの支度をしていた。妻は、プランターの花や果物に水やりをして終わった時に激しい雨が降って来た。

「せっかく水やりしたのに！」とブツブツ独り言。今日の実技トレは中止かと思っていたが、暫くして外を見ると日差しが指しており、中断していた支度をして、慌てて集合場所のみどりの相談所を車で目指して妻と共に参加した。



全員でストレッチをして、9時20分に市ノ池公園から高御位山山頂を目指してスタートした。少し歩くと朝の雨で濡れた急斜面が続き、下りの斜面であつたらもっと滑りそうだと思いつつ目に入る汗を拭いながら前の人に離れないようにと必死で行った。

急斜面を登り切ったところで小休憩となったが、みんなの背中には世界地図が描かれていた。しかし、見わたす景色は最高で、はっきり明石大橋を見ることが出来た。

山頂で小休憩を行い「飛翔の碑」前で全員の記念撮影を行い、北池登山口を目指して下山をしたが、蒸し暑さでかなり体力を消耗して来ていた。

時間の都合で北山鹿島神社登山口へ下山してみどりの相談所へと足を運んだ。

「三ノ峰」終了山行のミーティングを受講し、それに向けた体力の増進を痛感した。



■六甲山弓削牧場（女性委員会山行）

- 山 行 日：6月21日(日)
- 参 加 者：L尾越 SL待場 有本 上川 香川 田中(美) 田中(由) 中村 苦瓜 峯山
- 行 動 記 録：長峰山登山口(9:00 着)9:10 発～長峰山(10:20 着)10:35 発～
柚谷峠(11:10 着)11:20 発～穂高湖(11:25 着・昼食)11:50 発
～森林植物園東門 13:05～アジサイ園(13:30 着)13:40 発～森林植
物園正門(13:50 着)14:00 発～弓削牧場(14:30 着・ティータイム)
15:30 発～谷上駅 16:20 着

◆◆お気に入りの山は六甲？

中村

どこの職場でも山好きの人がいる。数年前まで、首都圏に住んでいた頃、「今まで登った中で、どの山がよかった？」と聞くと、「北アルプスの…」「日光連山の…」とか「大雪山連峰の…」など答えが返ってきて、私はそれらの山々から、残雪やお花畑の風景を連想し、ウットリ気分に浸ることができていた。なのに、姫路に移り住み、転職した職場で同じ質問をしてみると、なんと誰もが口をそろえて、「六甲」と即答するではないか。

ん…？それまでドライブスルーだった私としては、とても不思議だった。

その後、縁あって高御位山遊会に入会でき、幸いにも六甲を訪れる機会を得た。今では、六甲のどこに魅力があるのか、探索しながら歩いている。

今回、六甲が愛される二つの要因を発見した。一つは、あちらこちらに登山口があるせいか、お手軽に山歩きを楽しめること。まるで自宅近くの公園に行く如く、タオル一本引っ提げて、登っていた男性がいた。長峰山山頂近くで、「天狗岩までは、あとどのくらいですか？」と尋ねてきた。「用事の合間に、ちょっとそこまで登ってみるか。」の様子にみえた。

もう一つは、こじやれた店でスイーツを味わうことができること。今回、立ち寄った弓削牧場ではおいしいものがいっぱい。私は、クレーム・ダンジュ（天使のクリーム）アイスマルク付を注文した。なんとも言えないふんわりした舌触りいい＊クリーム。アイスマルクはいつもの紙パックのものとも、日帰り湯のビンのものとも、まるで味が違っていた。ミルクと牛乳って、別物なの？ともあれ、私も六甲に愛着を感じつつある。





■北摂の山 能勢妙見山

- 山 行 日：6月28日(日)
- 参 加 者：La 瀧原 SLa 山本(正) 有本 小山 坂田(俊) 田中(重) 田中(美)
平井(み) 藤田 舩賀 峯山 山下(雅)
Lb 平井(正) SLb 中嶋 赤木 赤松 嶋沢 田中(由) 藤本 宮崎 森下
山本(清) 渡辺(和)
- 行 動 記 録：宝殿駅 7:17 発ー妙見口駅(8:45 着)8:50 発ー初谷川入口(8:55 着)9:00
発ー初谷川終点地(10:20 着)10:25 発ー妙見山山頂(11:25 着)11:30 発
ー妙見宮(11:40 着)12:20 発ー本瀧寺(12:50 着)13:00 発ー今谷池
(13:57 着)14:46 発ー真如寺(15:10 着)15:23 発ー宝の湯(16:12 着)
17:16 発ー山電高砂駅(18:35 着)

◆◆梅雨空と能勢妙見山

平井

空模様は？・・・晴れている OK。今日は能勢妙見山への山歩きです。



J R宝殿駅前7時17分に、みなと観光バスに23名を乗せたバスが出発しました。今回の山行に、昨年の「はじめての山歩き」の同期生が7名も参加しました。昨年の三ノ峰を思い出します。時折バスのフロントガラスを小粒の雨が叩きます。

初谷溪谷入口を9時過ぎに出発しました。雨は降らないものの、少し薄暗い道や太陽がほんの少し覗く中、快適な山行です。途中に14～15か所の沢渡りも経験して三角点・頂上に到達です。昼食を済ませて、妙見奥の院へと歩を進めます。午前中はひんやり

とする初谷川沿いを澄んだ水音を聴きながらの快適な山登りでしたが、午後は太陽も顔を覗かせる中を、木の階段もあり、少しきつい登山でした。

リーダーから「妙見山にはオオキツネノカミソリという花が今頃見られるかも・・・」と、教えていただいたけれど、午前中はなかなか見つけることが出来ませんでした。午後になってそれらしい花を見つけたのですが、本当かどうか分かりません。黄色の花が咲きそうな蕾を持った花で、咲くのにはあと少しという感じでした。

帰路、「宝の湯」に浸かって疲れを癒しました。体調を崩した人もいましたが、全員無事に一日を終えることができました。リーダーをはじめ皆様、お世話になりました。



■鎌倉山(加西市)

- 山 行 日：7月4日(土)
- 参 加 者：L三木(悦) SL瀬尾 内海 坂田(俊) 坂田(敬) 澤田(卓) 嶋澤 苦瓜 藤田 舩賀 宮崎 村上 森本
- 行 動 記 録： JR宝殿駅7:45 発一善防公民館(8:15 着)8:20 発一善光寺駐車場(8:50 着)～登山口9:05 発～鉄塔(9:25 着・休憩)9:28 発～大天井(9:55 着) 10:05 発～東の覗き(10:55 着)11:05 発～鎌倉山山頂(11:30 着・昼食)12:00 発～西の覗き(12:05 着)12:10 発～善光寺駐車場(13:00 着・参拝)13:20 発～滝野温泉ぽかぽ (13:40 着)

◆◆行者道と鎌倉山

内海

梅雨とはいえ昨日に続き今日も怪しい天気。途中の善防公民館に参加者13名揃い、自家用車3台に分乗して出発。鎌倉山は、79号線や24号線を利用して多可町・西脇市に行く時には近くに見える。私はこの山は2度目ですが、10年程前の名水ブーム時にはよく水汲みに来ました。今も水汲みは出来ませんが、一般的な金具の蛇口からでは昔の風情がなくなった。

さて、鎌倉山域の中心にある蓬莱山普光寺の朱色山門を見て参道脇の駐車場に着く。河内集落に近いが、大木が多く深山の雰囲気では一人では恐いくらい。参道もよく手入れされ、ハイカー用無人案内もあり、標識もあり初めてでも安心である。こんなに静かな所ですが、前の広場で年配者がグランドゴルフに夢中。



その広場片隅で準備体操し、行者道登山開始。手入れされ苔むした緑の道を進むが、無風・多湿で全身汗まみれ。東尾根までは大きな杉林や大木が多く、昼でも暗く、早く尾根に出て風に当たりたい。大きな高压鉄塔の下を抜けやっとの思いで尾根に着く、この尾根道が昔の修験者の道。尾根道は行政の境界線で東に西脇市、北に多可町、残念ですが雑木でこの方面は見えない。見通しは悪いが標識がステンレス鋼板の抜き文字で明解である。道筋に役行者・大日如来など石仏が現れ昔の修行あとが色濃く残っている近辺では数少ない山です。大天井(460.5m)を過ぎ「東の覗き」の岩座で休憩、岸壁を下へまわると修行者の鎖があった。次に昔の多可町に通ずる柳峠、孔雀明王石像を通過、鎌倉山頂、ここで昼食。山頂からは播磨平野が一望できる。設置された絵地図では明石大橋、瀬戸大橋、高御位山など、あいにく今日の天気では、眼下の河内、和泉の里が望める程度で残念です。しかし今の季節、見えるもの全てが濃い緑一色でこれも良かった。下り坂を進み「鎌倉寺・鎌倉神社」到着、このあたりは物音全くなく、恐ろしいくらいある。ここから一気に起点に戻る。

自動車に荷物を預け普光寺参拝、杉並木の大木や日本一の大きさとも言われている石灯籠、鏡内に湧く蓬莱の名水、日本一とは信じ難いが見る価値がありそうです。

何れにせよ、集落は昔の山里のようで、鎌倉山も近くの山では珍しく信仰心の色濃く残った山です。